

教養教育系科目
(1) 総合教養教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
総合 教養 教育 科目	VAO11	修学基礎	1	1	必修	1	月2 (春)講堂他	香田泰子 伊藤和之 宮城愛美	大学生生活のスタートにあたり、大学で学ぶ意義、効果的な学修方法、進路選択、相互理解と集団の形成、心身の健康管理、安全な生活の進め方などを学ぶ。学内の施設・設備の概要を理解し積極的に活用する方法を身に付ける。また履修申請や履修計画、課題提出方法等について理解し、円滑な学修方法について理解を深める。討論、発表、共同作業などの多様な活動を通して、学生間および教員とのコミュニケーションの意義を知り、その方法を習得する。さらに、視覚障害者が利用できる制度やサービスの基本を学ぶ。また、聴覚障害コースのクラスメイトとのコミュニケーション活動を実施し、聴覚障害および聴覚障害者について理解を深める。	視覚対象 保健1H100～ 1H102と合同
	HAO21	修学基礎	1	1	必修	1	水4,5 (天)214 (天)体育館他	脇中起余子 中島幸則 新井達也 小林洋子 向後佑香 神村幸蔵	大学生生活のスタートにあたり、大学で学ぶ意義、効果的な学修方法、進路選択、相互理解と集団の形成、心身の健康管理、安全な生活の進め方などを学ぶ。学内の施設・設備の概要を理解し、積極的に活用する方法を身に付ける。また、履修申請や履修計画、課題提出方法等を含む円滑な学修方法について理解を深める。討論、発表、共同作業などの多様な活動を通して、学生間および教員とのコミュニケーションの意義を知り、その方法を習得する。また、視覚障害コースのクラスメイトとのコミュニケーション活動を通して、視覚障害および視覚障害者について理解を深める。	聴覚対象 産業SA541と 合同
	VAO31	心理学	2	1・2	選択	1	木3 (春)316	竹下 浩	心理学は、ヒトの心（他者からは観察不能）と行動（他者が観察可能）のメカニズムを、科学的な方法で探求する学問である。まず導入部では、心理学の過去と歴史を概観し、研究手法や統計的処理について基本を理解する。続く本論部分では、心と行動の基本的な働きを理解していく。ヒトは、外界の情報をどう入力・処理するのか（感覚と知覚）。自己や個性はどのように形成されるのか（記憶・感情・パーソナリティ）。心理的な発達とは、どのようなものなのか（学習・発達）。我々は、社会や他者の存在からどのような影響を受けて、一方で社会に影響するのだろうか（社会・文化・犯罪）。この講義を受けることで、リハビリ・エンジニア・事務系などの職種を問わず、現場で困難や疑問に直面した時に、状況の改善に役立つ見立てを考え付き、打ち手を試すことが出来るようになる。	視覚対象 保健1H400と 合同

教養教育系科目
(1) 総合教養教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
総合教養教育科目	HA041	心理学	2	1・2	選択	1	月2 (天)プレゼン テーション ルーム	長南浩人	本授業では、心理学の各分野の基礎知識を学び、かつ心理学的な思考方法や調査、実験方法に触れることで、日常生活における心理現象の理解と心理学的課題の解決能力の習得を目的とする。	聴覚対象 産業SA031と 合同
	VA051	哲学	2	1・2	選択	1	集中 (春)316	非) 川井博義	私たちは普段「正しい」「善い」「美しい」という言葉を何気なく使う。では、どうしてそう言えるのだろうか。その答えは、世界や人間をどのようにとらえるか、人生をどのように考えるのかという、ものごとの見方や考え方によって変わる。本科目では、西洋の古代～現代、東洋・日本の哲学・思想を学ぶ。それは単なる知識の習得ではなく、先人との対話である。また、様々な哲学的テーマをめぐり、履修者が意見・感想を示すことで、仲間との対話も行う。このように、先人や仲間との対話を通じて、自分自身や現在の常識を問い直すことができることが、本科目の特色である。それは、物事の本質や根本を問う姿勢を身につけることにもつながる。同時に、現代を生きる私たちの問題を発見し、その解決への糸口を模索する実践的経験にもなる。	詳細は後日掲示 視覚対象 保健1H410と 合同
	HA061	哲学	2	1・2	選択	1	木2 (天)プレゼン テーション ルーム	非) 上田徹	哲学的人間学の観点から、人間を全体像として理解するよう試みる。生物学的・社会的・経済学的立場から見られたこの世界における人間の位置づけを検討し、特に技術と人間の間に生ずる現代の病を考える。	聴覚対象 産業SA011と 合同

教養教育系科目

(1) 総合教養教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
総合教養教育科目	VA071	経済学	2	1・2	選択	2	木2 オンライン	非) 篠塚友一	ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎を学習する。二国間で貿易を行うことから、両国とも利益を得ることができることを理解し、モノ（財・サービス）の値段（価格）がどのように決まり、モノの値段の動きを決める要因についての理解を深める。国内総生産や物価によって経済全体の動きを理解する。	視覚対象
	HA081	経済学	2	1・2	選択	2	木2 オンライン	非) 篠塚友一	ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎を学習する。二国間で貿易を行うことから、両国とも利益を得ることができることを理解し、モノ（財・サービス）の値段（価格）がどのように決まり、モノの値段の動きを決める要因についての理解を深める。国内総生産や物価によって経済全体の動きを理解する。	聴覚対象 産業SA051と 合同
	VA091	歴史学	2	1・2	選択	1	木2 オンライン	非) 高野友理 香	イエズス会の宣教師ルイス・フロイスが16 世紀日本について叙述した『日本史』『日欧文化比較』『日本二十六聖人殉教記』の検討を通じて、歴史学研究の基本的手法を学んでいく。大航海時代や織豊期の日本に関する前提知識・歴史学における現代的課題についても取り扱う。	詳細は後日掲示
	HA101	歴史学	2	1・2	選択	1	木2 オンライン	非) 高野友理 香	イエズス会の宣教師ルイス・フロイスが16 世紀日本について叙述した『日本史』『日欧文化比較』『日本二十六聖人殉教記』の検討を通じて、歴史学研究の基本的手法を学んでいく。大航海時代や織豊期の日本に関する前提知識・歴史学における現代的課題についても取り扱う。	聴覚対象 産業SA021と 合同

教養教育系科目
(1) 総合教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
総合教養教育科目	VA111	文学	2	1・2	選択	2	木2 (春)316	伊藤和之	文学とは、言語によって表現された芸術である。すなわち、人間は如何に生き、如何に外界を認識し、交わり、死んでいくのかといったテーマに、言葉のみを用いて応える芸術である。そして、文学研究とは人間を研究する学問である。文学研究の方法には、作家・作品論、テクスト論があり、精神医学分野には、作家の精神疾患と作品との関係を考究する病跡学の知見が存在する。 本授業では、主として詩歌、物語、紀行、小説など、日本文学の諸作品、特に、いわゆる社会的弱者の描写を題材として取り上げ、どのような研究がなされているかを紹介する。そして、文学に関わる人間、すなわち作者、登場人物、読者の視点から多面的に捉える視座を得ること、一つの文学作品に対する自らの読解や理解が、数ある中の一つである認識を持ち、文学を通して人間の多様性を理解することを目標としている。授業は、講義、ディスカッション、ゲストスピーチなどで構成する。また、他授業科目の関連を意識し、教養の有用性について伝える。	視覚対象
	HA121	文学	2	1・2	選択	2	水3 (天)R201	伊藤和之	文学とは、言語によって表現された芸術である。すなわち、人間は如何に生き、如何に外界を認識し、交わり、死んでいくのかといったテーマに、言葉のみを用いて応える芸術である。そして、文学研究とは人間を研究する学問である。文学研究の方法には、作家・作品論、テクスト論があり、精神医学分野には、作家の精神疾患と作品との関係を考究する病跡学の知見が存在する。 本授業では、主として詩歌、物語、紀行、小説など、日本文学の諸作品、特に、いわゆる社会的弱者の描写を題材として取り上げ、どのような研究がなされているかを紹介する。そして、文学に関わる人間、すなわち作者、登場人物、読者の視点から多面的に捉える視座を得ること、一つの文学作品に対する自らの読解や理解が、数ある中の一つである認識を持ち、文学を通して人間の多様性を理解することを目標としている。授業は、講義、ディスカッション、ゲストスピーチなどで構成する。また、他授業科目の関連を意識し、教養の有用性について伝える。	聴覚対象
	VA131	情報と社会環境	2	1・2	選択	2	月2 536 (春)講堂	堀江則之	情報通信技術（ICT）の進歩が、経済、経営、産業、政策、地方自治、生活、コミュニケーション、法律、国際関係などにもたらしている変化を知り、持続可能な情報社会について展望する講義である。 「情報」と「社会環境」をキーワードとして、情報社会は、私たちに何をもたらし、今後はどのように変化していくのであろうか。具体的かつ分かりやすい事例を適時紹介していくとともに、授業ごとに課す課題に取り組むことによって、情報通信技術が情報社会に与える影響について理解を深める。	視覚対象 保健1H220と 合同

教養教育系科目

(1) 総合教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
総合教養教育科目	HA141	情報と社会環境	2	1・2	選択	2	木4 (天)214	河野純大 加藤伸子 皆川洋喜 若月大輔 渡辺知恵美 黒木速人 倉田成人 山脇博紀 郭 龍旻 鈴木拓弥 櫻庭晶子 北橋主税 辻田容希	私たちは、現代社会の様々なコミュニケーション環境を通して常に情報の受発信を行っている。また、自立して社会へ巣立ってゆく学生たちは、いずれは企業・組織の一員となるか、何らかの局面で企業・組織との関わりを持つことになる。本講義では、コミュニケーション体験などを通して、自分自身のコミュニケーション特性を説明できる能力の習得を目指す。また、社会環境としての企業の歴史や社会的責任、組織で求められる能力や社会ニーズについての理解を深める。	聴覚対象 産業SA721、SH711「企業・社会への参加とコミュニケーション」と合同
	VA151	言語学概論	2	1・2	選択	2	火2 (春)331	小林ゆきの	普段何気なく使用している言語について科学的にアプローチし、言語の不思議を紐解いていく。言語の仕組みから学際的な内容までを広く学び、言語に関する理解を深める。	視覚対象
	HA161	言語学概論	2	1・2	選択	2	火2 (天)214	神村幸蔵	本学学生になじみのある日本語、英語、手話言語の例を中心に、言語の仕組みや言語と社会に関する諸学問を学修し、我々がふだん使っている言語とは何かについて理解し、説明することができるようになることを目的とする。	聴覚対象
	VA171	法律学	2	1・2	選択	2	木2 オンライン	非) 岡田大助	「社会あるところに法あり」といわれるとおり、社会が存在すればそこには法も必ず存在する。それゆえ、法律学を学ぶことは、日本社会を構成するすべての人々にとって必要不可欠になる。本講義の目的は、履修者が法の基礎を理解し、法の体系性を意識し、そして具体的な事例を考えられることにより、法律学の場面だけで役立つのではなく、将来的に社会で役立てることができるリーガルマインド（法的思考力）の素養を身に付けることである。	視覚対象 産業SA041と合同

教養教育系科目
(1) 総合教養教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
総合教養教育科目	HA181	法律学	2	1・2	選択	2	木2 オンライン	非) 岡田大助	「社会あるところに法あり」といわれるとおり、社会が存在すればそこには法も必ず存在する。それゆえ、法律学を学ぶことは、日本社会を構成するすべての人々にとって必要不可欠になる。本講義の目的は、履修者が法の基礎を理解し、法の体系性を意識し、そして具体的な事例を考えられることにより、法律学の場面だけで役立つのではなく、将来的に社会で役立てることができるリーガルマインド（法的思考力）の素養を身に付けることである。	聴覚対象 産業SA041と 合同
	VA191	社会学	2	1・2	選択	2	木1 オンライン	非) 庄司俊之	社会学という学問分野は近代化とともに誕生した。社会の急速な変貌を目の当たりにした人々は、そもそも社会とは何か、我々の社会は今どういう地点に立っているのか、そして一体どこへ向かっているのかと問い掛けたのだ。本講義ではマルクス、デュルケーム、ウェーバー、フーコーなど、「現代社会論としての社会学」の古典を概説する。これら古典の学びは現在の状況を理解する上でも基礎的な教養となるだろう。	視覚対象 産業SA061と 合同
	HA201	社会学	2	1・2	選択	2	木1 オンライン	非) 庄司俊之	社会学という学問分野は近代化とともに誕生した。社会の急速な変貌を目の当たりにした人々は、そもそも社会とは何か、我々の社会は今どういう地点に立っているのか、そして一体どこへ向かっているのかと問い掛けたのだ。本講義ではマルクス、デュルケーム、ウェーバー、フーコーなど、「現代社会論としての社会学」の古典を概説する。これら古典の学びは現在の状況を理解する上でも基礎的な教養となるだろう。	聴覚対象 産業SA061と 合同
	VA211	日本国憲法	2	1・2	選択	2	集中 オンライン	非) 岡田大助	憲法は、つくるべき社会の設計図として制定される一国の最高法規であり、国家・社会を維持・発展させていくための見取り図の役割を果たすものである。それゆえ、日本国憲法を学習することは、日本社会を構成するすべての人々にとって必要不可欠になる。本講義の目的は、履修者が日本国憲法に対する輪郭を構築し、基本概念を理解し、そして将来的に社会で役立てることができるリーガルマインド（法的思考力）の素養を身に付けることである。	視覚対象 詳細は後日掲示 HA221、保健1 H430、産業 SA071、 SH071と合同
	HA221	日本国憲法	2	1・2	選択	2	集中 オンライン	非) 岡田大助	憲法は、つくるべき社会の設計図として制定される一国の最高法規であり、国家・社会を維持・発展させていくための見取り図の役割を果たすものである。それゆえ、日本国憲法を学習することは、日本社会を構成するすべての人々にとって必要不可欠になる。本講義の目的は、履修者が日本国憲法に対する輪郭を構築し、基本概念を理解し、そして将来的に社会で役立てることができるリーガルマインド（法的思考力）の素養を身に付けることである。	聴覚対象 詳細は後日掲示 VA221、保健1 H430、産業 SA071、 SH071と合同 と合同

教養教育系科目
(2) 語学教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
語学教育科目	VB011	英語 A	1	1	必修	1	水3 または 金2 (春)331	小林ゆきの	これまで学んできた断片的な英語に関する知識と能力を統合し、アウトプットを意識した、より実践的な英語力を修得していく。最初の数回では、英語と日本語の構造的、意味的、音声的な違いにフォーカスを当て、英語の基本となる語順、音素、リズムを学修する。それらをもとに、科学的・社会的な記事や音声・映像をベースとした教材を用いて構文分析やペアワークを行い、学んだ語彙や文法知識を直接会話に活かす練習をし、アウトプット力を強化する。基本教材の他に自宅学習用にシャドーイング教材を用いて日々の反復練習を促し、英語感覚を体得できるようにする。単語テストを随時行い、語彙力も強化していく。	視覚対象 保健3H100～ 3H102と合同
	HB021	英語 A	2	1	必修	1	水2 (天)215 または 火3 (天)214	神村幸蔵	基礎的な英語力の養成を目標として、講読と表現の学習を行う。講読では自然科学を含む現代的トピックを扱い、表現では身近なことを英語で書き表すこと及び言い表すことを演習形式で指導する。具体的に、この授業は、(1) テキストや配布資料による一斉授業、(2) ペアやグループによる活動を実施する。(1)では、講読と表現の学習を通じて基礎的な英語力を身につける。(2)では、他の受講生との協働を通して、英語を理解したり使ったりする活動を行う。	聴覚対象 産業SA111、 SH111、 SA121、 SH121、 SA141、 SH141と合同
	VB031	英語 B	1	1	必修	2	火4 または 水3 (春)331	小林ゆきの	英語B では、英語A に続き、これまで学んできた断片的な英語に関する知識と能力を統合し、アウトプットを意識した、より実践的な英語力を修得していく。科学的・社会的な記事や音声・映像をベースとした教材を用いて構文分析やペアワークを行い、学んだ語彙や文法知識を直接会話に活かす練習をし、アウトプット力を強化する。基本教材の他に自宅学習用にシャドーイング教材を用いて日々の反復練習を促し、英語感覚を体得できるようにする。単語テストを随時行い、語彙力も強化していく。	視覚対象 保健3H110～ 3H112と合同
	HB041	英語 B	2	1	必修	2	水2 (天)215 または 火3 (天)214	神村幸蔵 田中豊大(予定)	英語A に引き続き、基礎的な英語力の養成を目標として、講読と表現の学習を行う。講読では自然科学を含む現代的トピックを扱い、表現では身近なことを英語で書き表すこと及び言い表すことを演習形式で指導する。具体的に、この授業は、(1) テキストや配布資料による一斉授業、(2) ペアやグループによる活動を実施する。(1)では、講読と表現の学習を通じて基礎的な英語力を身につける。(2)では、他の受講生との協働を通して、英語を理解したり使ったりする活動を行う。	聴覚対象 産業SA151、 SH151、 SA181、 SH181、 SA161、 SH161と合同

教養教育系科目
(2) 語学教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単 位 数	履 修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時 限 教 室	担当教員	授業概要	備考
語学教育科目	VB091	オーラルコミュニケーションA	1	1	必修	1	[Regular] 火4 (春)536 [Advanced] 水4 (春)331	非) CatherineVivarO da 非) Viktoriya Nikolova	[Regular] 「Listening」・「speaking」を重視した授業を行い、日常語彙や表現を増やし、自ら英語を発する訓練を行い、英会話技術の習得を目指す。授業では学生たちにペア・グループを組んでもらい、日常英会話、発表の練習を行う。学期末には各自口頭試験を行う。授業中使用される言語は主に英語である。また、前もって発表のための準備をEnglish Lounge等のクラス外でもしっかりと行うこと。 [Advanced] 本授業では、英語のListeningとSpeakingを中心に、これまで学んできた英語の知識を総合的に補いながら、それを活かしたコミュニケーション能力の上達を目的とする。教員の指導のもとで多様なactivityに取り組むことで、自己表現力・他者理解力の鍛錬を目指し、より豊かな言語能力を身に付けていく。授業は主に英語で行う。なお、教員から与えられた課題やプレゼンなどの準備は各自でしっかり行うこと(English Loungeの活用を推薦)。	視覚対象 火4 保健3H201(理学))と合同 水4 保健3H200～202と合同
	VB101	オーラルコミュニケーションB	1	1	必修	2	[Regular] 金2 (春)536 [Advanced] 火5 (春)536	非) CatherineVivarO da 非) Viktoriya Nikolova	[Regular] 「Listening」・「speaking」を重視した授業を行い、日常語彙や表現を増やし、自ら英語を発する訓練を行い、英会話技術の習得を目指す。授業では学生たちにペア・グループを組んでもらい、日常英会話、発表の練習を行う。学期末には各自口頭試験を行う。授業中使用される言語は主に英語である。また、前もって発表のための準備をEnglish Lounge等のクラス外でもしっかりと行うこと。 [Advanced] 本授業では、英語のListeningとSpeakingを中心に、これまで学んできた英語の知識を総合的に補いながら、それを活かしたコミュニケーション能力の上達を目的とする。教員の指導のもとで多様なactivityに取り組むことで、自己表現力・他者理解力の鍛錬を目指し、より豊かな言語能力を身に付けていく。授業は主に英語で行う。なお、教員から与えられた課題やプレゼンなどの準備は各自でしっかり行うこと(English Loungeの活用を推薦)。	視覚対象 保健3H210～212と合同

教養教育系科目
(2) 語学教育科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
語学教育科目	VB131	日本語表現法A	1	1	必修	1	金1 (春)316	伊藤和之	言語は、語彙が最も変化しやすく、次が文法で、音韻が最も変わりにくいと言われる。私たちは、日常、酸素を吸い、二酸化炭素を吐き出すように、言葉を使用している。しかし、言葉の変化、自らの言語生活、又言葉そのものに対して疑問を抱く、内省するという経験や時間は決して多くはない。「読む」「聞く」「書く」「話す」ために用いる言葉に対して意識を向け、日常に活かす素養と態度を保つ努力は、個の人生及び社会の財産となり得る。 本授業では、日本語の歴史を基底に、日本語の音、文字・表記、敬語、方言について、網羅的に学習する。具体的には、音韻と語感、文字の表意性と表音性、句読点、待遇表現と敬意表現、方言などに関する知識を深め、日本語の特徴を理解する。得られた知識から、他者とのコミュニケーション及び日本語表記を行う上での留意点や知識の活用方法を主体的に考え、豊かな言葉の遣い手として言語生活を営む資質を身に付ける。また、他授業科目の関連を意識し、教養の有用性について伝える。	視覚対象 保健3H400～402「文章技法」と合同
	HB141	日本語表現法A	1	1	必修	1	火1 (天)213	脇中起余子 神村幸蔵	話しことばと書きことばは別物である。「日本語表現法A」では、書記日本語を書く力の養成に重点を置く。語彙を拡げ、誤解のない文を作り、目的に応じた適切な表現ができるようになることを主要目的とする。 下記の「授業計画」で記した内容以外に、文作成に必要な助詞（特に格助詞）の問題を不定期に出し、問題の一部を解説する。	聴覚対象
	VB151	日本語表現法B	1	1	必修	2	金1 (春)316	伊藤和之	言語は、語彙が最も変化しやすく、次が文法で、音韻が最も変わりにくいと言われる。私たちは、日常、酸素を吸い、二酸化炭素を吐き出すように、言葉を使用している。しかし、言葉の変化、自らの言語生活、又言葉そのものに対して疑問を抱く、内省するという経験や時間は決して多くはない。「読む」「聞く」「書く」「話す」ために用いる言葉に対して意識を向け、日常に活かす素養と態度を保つ努力は、個の人生及び社会の財産となり得る。 本授業では、日本語の機能、文法、意味・語彙、文章・文体について、網羅的に学習する。 日本語表現法Aは、主として話しことばの知識を深める意図がある。それに対して、本授業は、主として書きことばの知識を深める意図がある。他者、すなわち社会の眼や読解を意識した文章技法に焦点を当て、自身で作成した手紙や電子メールを推敲する、レポート及び論文作成などの基礎を身に付けるなど、実践を通して理解を深める。また、他授業科目の関連を意識し、教養の有用性について伝える。	視覚対象 保健3H410「文章技法」と合同

教養教育系科目
(2) 語学教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
語学教育科目	HB161	日本語表現法B	1	1	必修	2	火1 (天)213	脇中起余子 神村幸蔵	「日本語表現法B」では、論文執筆に必要な日本語力の養成に重点をおく。誤解のない客観的・論理的な文章とは何かを理解し、論文執筆に必要な基本スキルを身につけることを主要目的とする。シラバスの「授業計画」で記した内容以外に、文章作成に必要な助詞や接続詞の問題を不定期に出し、問題の一部を解説する。	聴覚対象 産業3A361、S H361と合同
	VB171	中国語1	1	1	選択	1	水5 (春)331	非)大森真理 (李立冰)	この授業では、中国語の発音からはじめ、文法の基礎を一通り学習すると共に、読む・書く・聞く・話す全般にわたって基礎力を養う。1学期では、発音の基礎と簡単な日常会話の表現を学ぶ。自己紹介ができるような総合的な中国語を学ぶ。	視覚対象 保健3H300と合同
	VB181	中国語2	1	1	選択	2	水5 (春)311	非)大森真理 (李立冰)	この授業では、第1学期で学んだ中国語の発音から復習しはじめ、引き続き文法の基礎を一通り学習すると共に、読む・書く・聞く・話す全般にわたって基礎力を養う。2学期では、1学期で学んだものを全体的に復習し、引き続き基本文型・文法事項を学び、辞書を引いて簡単な文章の読み書きができるような総合的な中国語を学ぶ。	視覚対象 保健3H310と合同

教養教育系科目
(2) 語学教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
手話言語科目	HC011	手話コミュニケーション入門	2	1	選択 必修	1	月3 (天)213	小林洋子	大学生活に必要な手話コミュニケーション力を身につけることを大きなねらいとし、日本語の指文字、日本手話言語の基本的な語彙と文法を学ぶ。また、プレゼンテーション技術(読取、表現)の基本的な練習にも力を入れる。	聴覚対象 産業SA331、S H331と合同
	HC021	日本手話言語基礎	2	1	選択 必修	2	月1 (天)214 または 月3 (天)214	小林洋子 大杉 豊	コミュニケーション手段の一つである手話言語を一度見つめ直すことを目的に、世界中に見られる身振り体系のコミュニケーションシステムを分類して解説し、手話言語を単語レベルで分析する技術を習得した上で、職場や教育現場、日常生活における身振り言語の活用を考える。	聴覚対象 産業SA341、S H341と合同
	HC031	手話コミュニケーション演習	1	1	選択	2	月3 (天)213	小林洋子	日本手話言語を使ったプレゼンテーション技術(読取、表現)の応用的な練習を主とする演習を行い、大学生活に必要な手話コミュニケーション力の増強を図る。	聴覚対象 産業SA351、S H351と合同
	HC041	アメリカ手話言語 1	1	1	選択	1	月2 (天)213 (天)214	小林洋子 大杉 豊	異文化コミュニケーションの能力を高めることを大きなねらいとし、米国などで使用されているアメリカ手話言語の基礎レベルを学習し、ビデオなどで米国のろう者の手話言語表現・生活文化に触れながら、身近な出来事についてアメリカ手話言語で会話でき、かつ自分の意見を表現できるよう指導する。	聴覚対象 産業SA311、S H311と合同
	HC051	アメリカ手話言語 2	1	1	選択	2	月2 (天)213 (天)214	小林洋子 大杉 豊	異文化コミュニケーションの能力を高めることを大きなねらいとし、米国などで使用されているアメリカ手話言語の基礎レベルを学習し、ビデオなどで米国のろう者の手話言語表現・生活文化に触れながら、身近な出来事についてアメリカ手話言語で会話でき、かつ自分の意見を表現できるよう指導する。	聴覚対象 産業SA321、S H321と合同

教養教育系科目

(3) 健康・スポーツ教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単 位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時 限 教 室	担当教員	授業概要	備考
健康 ス ポ ー ツ 教 育 科 目	VDO11	健康・スポーツA	1	1	必修	1	月4 (春)体育館 (春)プール 他	香田泰子 天野和彦	大学生生活のスタートに当たり、健康で活力ある学生生活を送るために必要となる健康や体力に関する理論を学修するとともに、スポーツの実践や体力テストの実施を通して自分の身体について理解し、自己に適したスポーツの理解と健康・体力づくりの方法を学修する。また、視覚障害者が実施しているスポーツの概要を知る。運動・スポーツ活動や健康づくりと視覚障害の特徴の関連を、国内外で実践されている視覚障害スポーツ（フロアバレーボール、サウンドテーブルテニス、ゴールボール、ブラインドサッカー、ブラインドテニス、フライングディスク等）の実践によって実体験として理解する。また、クラスメイトとチームで活動することで、チームワークやリーダーシップ、フォロワーシップを体験的に学ぶ。また視覚障害が自己の体力や健康にどのように影響するのか、体力テストや体格測定の実施により理解する。夏季（7月）は水中活動を実践し、スキndaイビングやカヌーといったマリンスポーツの基礎を習得する。さらに着衣泳の実習により、水の事故に対する知識・技術を学習する。これらの実習や講義によって、自己の健康や体力に関する意識を高め、主体的に行動できる能力を身に付ける。	視覚対象
	HDO21	健康・スポーツA	1	1	必修	1	木3 (天)体育館 (天)215	向後佑香 中島幸則	この授業では、「身体と健康」をキーコンセプトに内容を構成する。具体的には健康論、体力論、トレーニング理論等、健康科学分野の理論をベースに、運動の必要性、エネルギー消費、身体組成、運動と栄養、スポーツの怪我、突然死等に関する内容を学習する。学習にあたっては、自らの身体を用いてさまざまな測定を行なうことによって、内容の理解を深める。また、障がい者スポーツの意義と理念、そして、諸施策についての理解を深める。	聴覚対象 産業SA451と 合同

教養教育系科目
(3) 健康・スポーツ教育科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
健康ス ポーツ 教育科目	VD031	健康・スポーツB	1	1	必修	2	火3 (春)体育館 (春)プール 他	天野和彦 香田泰子 向後佑香	各種スポーツの実践を通してスポーツ技能の向上を図り、自己に適したスポーツや運動を理解し自主的に実践していく能力や態度を身につける。この授業では、以下の種目を個々の習熟状況に応じて実践することにより、視覚障害があっても、晴眼者が実施している種目を実施することができること、さらに晴眼者でも普段なかなか体験できない種目を実践することができる経験を通して、自己の視覚障害の状況とスポーツの実施に関する知識や意識、意欲を深める。また各種目の実施を通して、運動技能、特に空間との関係における自身の身体操作の方法を学習する。これらの活動を通して、自己に適したスポーツや運動を理解する。さらに、スポーツ外傷・障害や応急処置、AEDの使い方を実習し、安全にスポーツ活動を実施するための知識と技術を身に付ける。以上のような活動を通して、視覚障害者スポーツやアダプテッド・スポーツについての理解を深める。	視覚対象
	HDO41	健康・スポーツB	1	1	必修	2	木3 (天)体育館 (天)215	向後佑香 中島幸則	この授業では、各種の運動・スポーツ実践を通して、運動やスポーツに対する好意的態度を育成し、仲間とのコミュニケーションを深めるとともに、それぞれのライフステージにおいて自己の健康維持と体力増進を可能とする知識を深める学習を行う。	聴覚対象 産業SA471と 合同

教養教育系科目
(4) データサイエンス科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
情報リテラシー科目（視覚障害系）	VEO11	情報基礎1	2	1	必修	1	水2 (春)536	金堀利洋 河原正治	大学での学修に必要となる情報リテラシーに関する知識を習得することを目的とする。Windows の基本操作から、電子メール、インターネットの使い方やマナーについて学修し、さらにワープロ操作や表計算ソフトの基本操作についても学修することで、大学のみならず社会に出てからも必要とされる文書作成・情報の収集/発信・データの集計の技術を身につける。	視覚対象 保健3H501(理学)と合同
	VEO21	情報基礎演習1	1	1	必修	1	火1 (春)536	金堀利洋 河原正治	大学での学修に必要となる情報リテラシーに関する知識を習得することを目的とする。Windows の基本操作から、電子メール、インターネットの使い方やマナーについて学修し、さらにワープロ操作や表計算ソフトの基本操作についても学修することで、大学のみならず社会に出てからも必要とされる文書作成・情報の収集/発信・データの集計の技術を身につける。	視覚対象 保健3H511(理学)と合同
	VEO31	情報基礎2	2	1	必修	2	水4 (春)536	金堀利洋 武田直樹（予定） 鈴木拓人（予定）	「情報基礎1」で学んだ基礎的な知識を発展させ、より実践的かつ高度な情報リテラシースキルの習得を目的とする。表計算ソフトの応用的操作に加え、プレゼンテーションソフトの基本操作について学修し、より高度なデータ集計/分析・プレゼンテーション資料の作成の技術を身につける。	視覚対象 保健3H521(理学)と合同
	VEO41	情報基礎演習2	1	1	必修	2	木3 (春)536	金堀利洋 武田直樹（予定） 鈴木拓人（予定）	「情報基礎1」で学んだ基礎的な知識を発展させ、より実践的かつ高度な情報リテラシースキルの習得を目的とする。表計算ソフトの応用的操作に加え、プレゼンテーションソフトの基本操作について学修し、より高度なデータ集計/分析・プレゼンテーション資料の作成の技術を身につける。	視覚対象 保健3H531(理学)と合同

教養教育系科目
(4) データサイエンス科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
情報リテラシー科目 (聴覚障害系)	HFO11	情報リテラシー	2	1	必修	1	木1 (天)117	河野純大 井上征矢 鈴木拓弥 田嶋美雪	本授業では、基本的な情報処理技術として、Eメール、teams、履修登録システムの使用方やレポートの書き方の技術、表計算ソフトの使用方法、プレゼンテーションソフトの使用方法やプレゼンテーションやディスカッションの技術について学ぶ。加えて、ネットワーク利用上のマナーや昨今利用が増加しているSNS 利用上の注意、ネットワーク上のトラブル、セキュリティの重要性について学ぶ。	聴覚対象 産業SH092と 合同

教養教育系科目
(4) データサイエンス科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
基礎科目	VG011	数学基礎	2	1	必修	1	月1 (春)316	田中 仁 垣野内将貴	数学を使う学修の基礎となる知識の習得とその取り扱いのスキルに習熟する。学修する内容の前半は、基本的な数と式の計算、簡単な方程式と不等式、図形に関すること、また簡単な関数とそのグラフなどを学修する。後半はより進んだ内容を理解するために、数列と級数（数列の和）、極限、ベクトルなどの概念と取り扱いを含む内容を学修する。	視覚対象 保健1H44Oと 合同
	HG021	数学基礎	2	1	必修	1	金2 (天)R201	新井達也	専門科目の学修に必要な数学の基礎的内容について学ぶ。直線、放物線、円、分数関数、無理関数、指数関数、対数関数、三角関数などの基本的な知識の修得を通して応用力を身につける。	聴覚対象
	VG031	社会統計学A	2	1	必修	1	月3 (春)231	田中 仁	講義は確率の復習に始まり、推定・検定まで一通りの統計的手法の修得を目的とする。理解を深めるため、本科目は講義科目ではあるが、表計算ソフトを使った実習を行いながら講義内容の理解を深める。	視覚対象
	HG041	社会統計学A	2	1	必修	1	金3 (天)214	河野純大	データサイエンスの学びの基礎として基本統計量について学び、データに基づいた論理的思考や、プレゼンテーションのフレームについて学ぶ。前半の講義では、棒グラフ、散布図や複合グラフなどのグラフ特性を知り、データを可視化するためのグラフ化手法を学ぶ。次に、ヒストグラムや基本統計量、データの代表値について学んだ上で、ルーレットなどの具体的な例を題材に順列・組合せの区別の復習や確率データの計算やデータの特徴を学ぶ。後半の講義では、データを分析し可視化するための複数のフレームワークについて学ぶ。ここでは、具体的なビジネスデータ、マーケティングデータ、学生自身が興味を持ったデータを用いて、推論・可視化する練習を行い、最終的には分析に基づくプレゼンテーションを作成する。これらを通して、社会的な統計データに対する確かな根拠に基づく議論の基礎を学ぶ。	聴覚対象 産業SH102と 合同

教養教育系科目
(4) データサイエンス科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
基礎科目	VG051	社会統計学B	2	1	選択	2	火1 (春)231	田中 仁	統計学は、社会科学において「正しさ」を補償するために用いられる強力な道具である。本講義は、この道具を理解して使いこなせることを目標とする。豊富な実践例を通じて、研究課題を解決するための道具としての統計学を身に着けることを目標とする。現代推計統計学の確率者の一人であるロナルド・フィッシャーは弱視者であり、数式を音声により学んだといわれている。そんなことにも思いを馳せながら共に学んで行きたい。 ▽	視覚対象 保健6H120 「確率・統計」 (鍼灸・理学)と 合同
	HG061	社会統計学B	2	1	選択	2	木5 (天)214	菊地浩平	専門分野での研究を行う上で必要となる統計の基礎を身につけ、基本的な仮説検定による論証を行うことができるようになることを目指す。講義では、数学的な原理の解説にとどまらず、具体的な練習問題を用いて手を動かしながら学習を進める。	聴覚対象 産業SA082と 合同

専門教育系科目
(5) 障害社会学系科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
視覚・聴覚障害系共同実施科目	VIO11	障害の特性と理解	2	1	必修	2	金4 (春)231	白澤麻弓 青木千帆子 非) 山森一希 非) 吉川かおり 非) 末吉彩香 非) 上岡陽江	多様な人々の社会的活躍を支えていくためには、そうした人々の持つ障害について、正しい理解を持つことが重要である。この授業では、自身の持つ障害以外のさまざまな障害（聴覚障害、視覚障害、知的障害、肢体不自由、発達障害、精神障害など）について、病理学、生理学、教育学、心理学、リハビリテーション学の観点から学ぶことで、障害の特性についての基礎的な知識を獲得するとともに、多様な障害がある人の「活動」や「参加」の状態を向上させるための指導や援助の内容について学習する。 これらを通じて、さまざまな障害を持つ人々の社会参加を支え、彼／彼女らの活躍を支援するための基礎的な技術と知識の習得を目指す。	視覚対象 HIO21と合同
	HIO21	障害の特性と理解	2	1	必修	2	金4 (春)231	白澤麻弓 青木千帆子 非) 山森一希 非) 吉川かおり 非) 末吉彩香 非) 上岡陽江	多様な人々の社会的活躍を支えていくためには、そうした人々の持つ障害について、正しい理解を持つことが重要である。この授業では、自身の持つ障害以外のさまざまな障害（聴覚障害、視覚障害、知的障害、肢体不自由、発達障害、精神障害など）について、病理学、生理学、教育学、心理学、リハビリテーション学の観点から学ぶことで、障害の特性についての基礎的な知識を獲得するとともに、多様な障害がある人の「活動」や「参加」の状態を向上させるための指導や援助の内容について学習する。 これらを通じて、さまざまな障害を持つ人々の社会参加を支え、彼／彼女らの活躍を支援するための基礎的な技術と知識の習得を目指す。	聴覚対象 VIO11と合同
	VIO31	障害社会学	2	1	必修	2	金5 (春)231	青木千帆子	国連「障害者の権利に関する条約」において示されている「社会モデル」を軸に、「障害」や「社会的障壁」に対する幅広い見方・捉え方について学習する。同時に、より幅広い対象を包含する「ダイバーシティ」の概念について理解し、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンを基盤とした社会のあり方について議論を深める。	視覚対象 HIO41と合同
	HIO41	障害社会学	2	1	必修	2	金5 (春)231	青木千帆子	国連「障害者の権利に関する条約」において示されている「社会モデル」を軸に、「障害」や「社会的障壁」に対する幅広い見方・捉え方について学習する。同時に、より幅広い対象を包含する「ダイバーシティ」の概念について理解し、ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンを基盤とした社会のあり方について議論を深める。	聴覚対象 VIO31と合同

専門教育系科目
(5) 障害社会学系科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
情報 アクセシビリティ科目（視覚障害系）	VJO11	視覚障害学概論	2	1	必修	1	木2 (春)316	伊藤和之 宮城愛美	視覚障害にはグラデーションがある。障害原因、視力、視野をはじめとして、視覚障害児・者個々人の見え方は千差万別である。日常生活に支障を来しているケースもあれば、社会生活上のある部分における不自由に悩むケースもあり得る。そのため、相互理解のためには、たとえ視覚障害者同士であっても、一定の知識、時間、コミュニケーションの場、そして必要な場面が存在する。晴眼者であれば、尚のことである。 本授業では、キャリア形成の基礎を整える視点から、自己の障害の特性を理解し適切に対処するための知識や技術を身につけると共に、自己の障害や視覚障害全般についての見識を深め、社会的なリーダーとしても通用する障害者となるべく、障害者に対する社会の認識、障害者の自立などを学修する。授業は、講義、ディスカッション、ゲストスピーチなどで構成する。	視覚対象 保健4H100と 合同
	VJO31	点字の理論と実際	2	1	必修	1	木5 (春)316	田中 仁	点字についての講義を中心に、美の3要素とされる「単純」「対称」「意外性」の視点から、最も単純な文字である点字に潜む構造の理解を進める。さらに、分かち書きについては、時間を割いて詳細に行い、その能力を向上させる。	視覚対象 保健4H200と 合同

専門教育系科目
(5) 障害社会学系科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
情報アクセシビリティ科目（視覚障害系）	VJO41	障害補償演習 1	1	1	選択	1	木4 (春)316	伊藤和之 宮城愛美 田中 仁 嶋 俊樹	視覚障害者用の支援機器やアプリケーションは、ローテク（点字盤や拡大読書器など）から、ハイテク（PCや点字電子メモ帳など）まで、様々なものが製品化されている。高等教育の学修に際しては、科目の特性や自らの障害特性を踏まえた上で、紙媒体だけでなく、各種の支援機器やソフトウェアを学習手段として組み合わせながら使用することによって、障害を補い、学習効率を上げ、心身の負担を軽減する効果が得られる。この考え方は、就労、加齢、障害程度の変化などの場面や状況においても、一定の役割を果たす基盤の知識と操作技術と言える。 本授業では、各学生の学修上のニーズと能力に応じ、視覚障害補償の理論と具体的方策を学習する。具体的には、学修および各種試験等において点字（担当：嶋）、点字機器（担当：田中）、デイジー（担当：伊藤）、タブレット（担当：宮城）、その他の機器・技術（担当：伊藤、宮城）の使用を希望する学生が、その効率的な利用法を学習する。	視覚対象 保健4H300と 合同
	VJO51	障害補償演習 2	1	1	選択	2	木4 (春)316	伊藤和之 宮城愛美 田中 仁 嶋 俊樹	視覚障害者用の支援機器やアプリケーションは、ローテク（点字盤や拡大読書器など）から、ハイテク（PCや点字電子メモ帳など）まで、様々なものが製品化されている。高等教育の学修に際しては、科目の特性や自らの障害特性を踏まえた上で、紙媒体だけでなく、各種の支援機器やソフトウェアを学習手段として組み合わせながら使用することによって、障害を補い、学習効率を上げ、心身の負担を軽減する効果が得られる。この考え方は、就労、加齢、障害程度の変化などの場面や状況においても、一定の役割を果たす基盤の知識と操作技術と言える。 本授業では、障害補償演習 1 に引き続き、各自が必要な障害補償技術のスキルアップを行う。必要に応じて、専門性の高いデイジー図書の作成ができ、また、それらを用いた学習が行える（担当：伊藤、田中）。また、パソコン（担当：宮城）やタブレット（担当：嶋）を利用した高度な視覚障害補償方法を学ぶ。	視覚対象 保健4H310と 合同

専門教育系科目
(5) 障害社会学系科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時 限 教 室	担当教員	授業概要	備考
情報 アクセシビリティ 科目 (聴覚障害系)	HKO11	情報保障概論	2	1	必修	1	火2 未定	三好茂樹 白澤麻弓	聴覚障害者のための手話通訳や文字通訳等を中心とする各種情報保障の手段や技術について実習や演習を踏まえながら、理解を深めることを目的とする。	聴覚対象

専門教育系科目
(6) 情報科学系科目

区分	科目番号	授業科目	単位数	履修年次	必修・選択	実施学期	曜時限 教室	担当教員	授業概要	備考
情報科学系科目	VLO11	情報科学概論	2	1	必修	2	月3 (春)共同	福永克己	講義主体で行う。毎回、復習で解いた過去問題の解説を行った後、教科書のポイントをまとめた資料を説明する。	視覚対象 保健9H120(情報)と合同
	VLO51	ウェブテクノロジーとセキュリティ	2	1	必修	2	金3 (春)231	河原正治	本講義は、インターネット上で動作するソフトウェアがどのように情報をやりとりしているかに関する仕組みについて講義する。特に、コンピュータ同士が通信するために必要となる規約（通信プロトコル）や通信経路の選択技術（ルーティング）などについて学修する。また、代表的なインターネットアプリケーションであるWorld Wide Webや電子メールがどのように実用化されているかについて講義するとともに、暗号・認証などの技術、ネットワークサービスにおけるセキュリティ、アクセス制御について学修する。理解をより深めるために、ネットワーク管理ツールの使用方法や簡単なプログラミングの実習を随時織り交ぜながら授業を進める。	視覚対象 保健9H240 「コンピュータネットワーク」(情報)と合同
	HLO61	ウェブテクノロジーとセキュリティ	2	1	必修	2	金1 (天)217 (天)116	西岡知之	2進数や論理、情報量の基礎など、コンピュータの数理的裏づけを概観するとともに、コンピュータのハードウェア構造、プログラムが実行される仕組みなどについて学ぶ。	聴覚対象

専門教育系科目
(8) 情報保障工学科目

区分	科目 番号	授業科目	単位 数	履修 年次	必修 ・ 選択	実施 学期	曜時限 教 室	担当教員	授業概要	備考
情報保障工学科目（視覚障害系）	VNO11	移動支援工学演習	1	1	選択	1	火3 (春)411 他	関田 巖	各自が今までで移動時に感じた不便さや困難さを発表し、クラス内で共有する。共有内容から対策したい共通課題を見つける。この際、受講者数、興味のある課題内容等の観点から、場合によってグループ分けをおこなう。各グループごとに、興味のある課題に対して解決策を検討し、解決に向けて行動する。また、視覚障がい者の歩行時に重要なオリエンテーションとモビリティについて学習する。触図について理解を深める。単独歩行時の手がかりとストレスについても理解を深める。	視覚対象 保健6H480(情報)と合同
	VNO21	情報アクセシビリティ	2	1	必修	2	水1 (春)231	宮城愛美	視覚障害がもたらす最も深刻な問題は、情報アクセスの困難や不便である。社会の情報化が進展するなかで、視覚障害者の情報アクセシビリティを向上させるための様々な取り組みが行われているが、その変遷や現状を多面的に学び、アクセス支援技術の研究開発と普及の動向を総合的に知る。	視覚対象 保健9H130(情報)と合同
	VNO31	情報アクセシビリティ演習	1	1	必修	2	水2 (春)231	宮城愛美	視覚障害者の情報アクセシビリティの向上を図るには、情報を発信する側と情報にアクセスする当事者側の双方の対応力が必要である。本演習では、当事者側の対応力の向上を目指し、情報アクセスにおける障壁の実際を理解したうえで、その軽減に役立つ機器や技術の活用法を実践的に習得する。	視覚対象 保健9H140(情報)と合同